

令和2年度 出資団体評価シート

1 基本情報

団体名	(公財)札幌市芸術文化財団	所管課	市民文化局文化部文化振興課
基本財産	81,212千円	記入者	担当 白川 電話 011-211-2261
設立年月日	昭和61年(1986年) 4月1日	本市出資額	40,606千円 (出資割合 50.0%)
設立・出資目的	札幌から新しい芸術文化の創造を目指し、芸術文化に関し、広く一般に、参加と鑑賞の機会を提供するとともに、優れた創作活動の奨励を図り、もって市民の豊かな情操の涵養と我が国の芸術文化の向上発展に寄与することを目的とする。	出資年月日	昭和61年(1986年) 4月1日
沿革		昭和61年	(財)札幌芸術の森設立
		平成11年	(財)札幌市教育文化財団と統合し、
		平成19年	(財)札幌市芸術文化財団へ名称変更
		平成25年	本市出資団体改革プランにより、(財)札幌彫刻美術館と統合 公益財団法人へ移行
代表者	理事長(非常勤) 秋元 克広(市長)		
主な出資者	① 札幌市 (50.0%) ② 札幌市芸術文化財団 (43.8%) ③ 北海道新聞社 (0.6%) ④ 毎日新聞社北海道支社 (0.6%) ⑤ 朝日新聞社北海道支社 (0.6%) ⑥ 読売新聞社北海道支社 (0.6%)		
団体所在地	〒005-0864 札幌市南区芸術の森2丁目75番地	電話	011-521-5114

2 実施事業 (詳細については事業評価シート参照)

(1) [No.] [主要事業名] (該当ページ)	
[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]	
① 札幌芸術の森及び本郷新記念札幌彫刻美術館の管理・運営事業 (6ページ)	② 札幌コンサートホールの管理・運営事業 (8ページ)
【芸術の森】文化芸術都市さっぽろのシンボルとして施設の管理運営を行うとともに、多数の展覧会や観賞会、サッポロ・シティ・ジャズ等の事業を主催し、「制作・研修機能」、「情報・交流機能」、「鑑賞・発表機能」を持つ新しい文化芸術の場を創出する。 【彫刻美術館】施設の管理運営を行うとともに、多くの展覧会を開催し、彫刻を中心とした美術の振興を図る。	国内有数の音響を誇る音楽専用ホールとして、施設の管理運営を行うとともに、著名演奏家の招聘や親しみある演奏会の開催など、数多くのコンサートを主催し、音楽文化環境の創造や音楽文化の普及振興を図る。
③ 札幌市教育文化会館の管理・運営事業 (10ページ)	④ 札幌市民ギャラリーの管理・運営事業 (10ページ)
音楽、舞踊、演劇、美術等の舞台芸術の制作及び発表の場として、施設の管理運営及び多彩な事業を展開し、本市の舞台芸術の振興を図る。	各種展覧会の拠点会場として、市民の使用に供するために施設の管理運営を行い、本市の文化芸術の振興を図る。
⑤ 札幌市民交流プラザの管理・運営事業 (13ページ)	
舞台芸術、音楽、美術等の企画、制作及び実施等を通じて、文化芸術活動及び生涯学習の振興と人々の来訪及び交流の促進を図ることにより、市民の創造性を育むとともに、市民生活の質の向上と地域のにぎわいの創出に寄与する。	
(2) 総支出に占める事業支出割合	94.9% (主要事業支出合計 3,641,155千円 ÷ 総支出 3,835,002千円)
(3) 主要事業の有効性 (出資・設立目的に対して事業効果は、十分出ているか)	
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
理由	当団体は、文化芸術施設の管理運営と多彩な主催事業の実施により、市民が優れた文化芸術に親しむ機会や環境を数多く提供しており、設立目的に対する事業効果は高い。今後も、団体の持つ専門性を活かして他団体や施設と連携を図ることで、一層の事業効果を生み出していくことが求められる。
(4) 主要事業の質・量 (出資・設立目的の達成のために、必要十分な事業が実施されているか)	
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 実施されている <input type="checkbox"/> 一部見直す必要がある <input type="checkbox"/> 実施されていない
理由	幅広い分野において多彩な文化芸術事業を展開するとともに円滑な施設運営が行われている。これらは、文化芸術に対する市民の関心や理解を深めることに寄与するものであり、当団体の設立目的に合致した事業展開がなされていると評価できる。

3 団体職員・構成員等

令和2年4月1日現在(単位:人)

	本市OB	本市派遣	プロパー	その他	総数	プロパー職員の年齢構成				役員の任期	
役員					13	10歳代	0	40歳代	22	理事	2年
常勤理事	2	0	0	0		20歳代	26	50歳代	15	監事	4年
常勤監事	0	0	0	0		30歳代	38	60歳代	0	代表権のある役員 の就任年月	
非常勤理事				9		平均年齢		37.0	歳	理事長	R1.6
非常勤監事				2						副理事長	R2.6
職員					235					職員総数の推移(人)	
常勤管理職	4	5	11	4						H30.4.1時点	216
常勤一般職	1	2	90	83						H31.4.1時点	236
非常勤職員				35							

4 財政状況

※数字は団体決算ベース（金額単位：千円）

区分		H30年度決算	R1年度決算	(前年比)
財務状況	正味財産増減計算書	経常収益(a)	3,770,069	3,722,203 (100.0%) (▲ 47,866)
		経常費用(b)	3,672,859	3,835,002 (+162,143)
		うち管理費等(c)	13,054	13,871 (0.4%) (+817)
		うち人件費(d)	1,101,156	1,115,870 (30.0%) (+14,714)
		当期経常増減額(e)	97,210	▲ 112,799 (▲ 210,009)
	当期正味財産増減額(f)	86,435	▲ 64,325 (▲ 150,760)	
	貸借対照表	資産(g)	2,286,268	2,177,920 (▲ 108,348)
		流動資産(h)	1,113,216	1,012,457 (▲ 100,759)
		固定資産(i)	1,173,052	1,165,463 (▲ 7,589)
		うち基本財産(j)	81,212	81,212 (0)
		負債(k)	785,631	741,608 (▲ 44,023)
		流動負債(l)	651,243	598,266 (▲ 52,977)
		固定負債(m)	134,388	143,342 (+8,954)
		正味財産(n)	1,500,637	1,436,312 (▲ 64,325)
借入金残高(o)		0	0 (0)	

R1年度決算の概要

区分	当期収入の増減、収支の状況、資産・負債の大幅な変動の要因等
a	経常収益(a)は、受取指定管理費について、前年度の市民交流プラザの開業に伴う影響がなくなり、平年度の水準になり減少となったものの、主催公演の集客、ならびに協賛制度に伴う広告料収益が好調に推移し、収益全体の減少の幅を抑えることが出来た。
b	経常費用(b)は、市民交流プラザの通年開館に伴い、半年間の開業であった前年度に比べ光熱水費や委託費を中心に増加となった。
n	正味財産(n)は64,325千円余の減となった。前年度は86,435千円余の増となり、市民交流プラザの通年開館による運営費用として充当する計画であったが、2ヵ年度の通算ではプラスを確保することができた。

※詳細は、別添の貸借対照表、正味財産増減計算書を参照。

5 本市の財政的関与

※数字は札幌市決算ベース（金額単位：千円）

区分	H30年度決算	R1年度決算	(前年比)
市補助金・交付金・負担金	41,155	32,040	(▲ 9,115)
市委託料	2,794,337	2,562,737	(▲ 231,600)
市業務委託料	8,802	5,115	(▲ 3,687)
うち随意契約	8,802	5,115	(▲ 3,687)
市指定管理費	2,785,535	2,557,622	(▲ 227,913)
うち非公募	2,711,508	2,482,684	(▲ 228,824)
(参考)再委託額	996,378	1,120,499	(+124,121)
うち市業務委託分	0	0	(0)
再委託率	(35.7%)	(43.7%)	(+8.1%)
市貸付金	0	0	(0)
市貸付金残高	0	0	(0)
損失補償等限度額	0	0	(0)
損失補償契約等に係る債務残高	0	0	(0)
(参考)市施設利用料金収入	499,740	591,221	(+91,481)
うち非公募	480,253	571,721	(+91,468)

6 財務指標に基づく評価

(金額単位：千円)

項目		H30年度	R1年度	(前年比)	評価基準	備考
(1)健全性	剰余金(n-j)	1,419,425	1,355,100	(▲64,325)	前年比較増	正味財産-基本財産
	自己資本比率(n÷g)	65.6%	65.9%	(+0.3%)	≥50%	正味財産÷資産
	流動比率(h÷l)	170.9%	169.2%	(▲1.7%)	≥150%	流動資産÷流動負債
	固定比率(i÷n)	78.2%	81.1%	(+3.0%)	≤100%	固定資産÷正味財産
	借入金依存度(o÷g)	0.0%	0.0%	(0.0%)	前年比較減	借入金残高÷資産
(2)生産性	職員一人当り経常収益	17,454千円	15,772千円	(▲1,682千円)	前年比較増	経常収益÷職員総数
	人件費率(経常収益比)(d÷a)	29.2%	30.0%	(+0.8%)	前年比較減	人件費÷経常収益
	職員一人当り管理費	60千円	59千円	(▲2千円)	前年比較減	管理費等÷職員総数
	管理費率(経常収益比)(c÷a)	0.3%	0.4%	(+0.0%)	前年比較減	管理費等÷経常収益
(3)自立性	市依存度(収入)	86.0%	83.1%	(▲2.9%)	前年比較減	市収入(注1)÷経常収益
	市財政的関与割合(収入)	88.5%	85.6%	(▲2.9%)	前年比較減	市収入(注2)÷経常収益
健全性の評価		<input type="checkbox"/> 非常に高い <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 概ね健全 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い				
理由	健全性については、自己資本比率、流動比率、固定比率及び借入金依存度はいずれも良好な値を維持しており、健全性は高い。 生産性においては、経常収益が減じたことで、前年度と比較するとやや悪化しているものの、指定管理費の減少の影響を小さくするために、広告料収益の確保に努めたことは評価できる。 また、自立性については、市文化芸術施設の管理運営等を主要事業としており、依存度、財政的関与割合と本市への財政的依存度が高いものの、前年比較で減少しており、自立性は高まっている。					

(注1)市収入＝市補助金・交付金＋市業務委託料(随意契約分)＋市指定管理費(非公募分)＋市施設利用料金収入(非公募分)

(注2)市収入＝市補助金・交付金＋市業務委託料＋市指定管理費＋市施設利用料金収入

7 「札幌市出資団体の在り方に関する基本方針」に基づく具体的な行動計画の進捗評価

ここでは、具体的な行動計画(※1)で示した取組目標について、年度ごとの指標(※2)の達成状況とその評価を行う。

※1詳細については具体的な行動計画(別冊子)を参照

※2指標の実績値は各年度末時点のもの

(1)出資・出捐

○取組目標		計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
No.	指標名						
○適正な市出捐金の比率							
①	市出捐金	目標		40,606千円 (出資比率50%)	40,606千円 (出資比率50%)	40,606千円 (出資比率50%)	40,606千円 (出資比率50%)
		実績	40,606千円 (出資比率50%)	40,606千円 (出資比率50%)	40,606千円 (出資比率50%)	40,606千円 (出資比率50%)	40,606千円 (出資比率50%)
②	市出捐金比率の引き下げ	目標		—	—	—	検討
		実績	—	—	—	—	
評価	当団体は、札幌芸術の森など6施設の管理運営を担っている。平成30年度市民交流プラザ開設に伴い一定期間本市派遣職員を増員するなど、本市が積極的に当財団に関与しており、出捐金についても当面は現行の比率を維持していくことが妥当である。						

(2) 人的関与

○取組目標		計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
No.	指標名						
○札幌市民交流プラザの円滑な開設準備に向けた人的関与							
①	市派遣職員数	目標	8	12	12	9	7
		実績	6	8	12	12	9
②		目標					
		実績					
評価	令和元年度は、札幌市民交流プラザ開設準備業務の終了により、前年度比較3名減で9名の本市職員を派遣している。本市の文化芸術施策を推進していくためには、当該団体との連携を密にして施設の管理運営や各種事業を実施する必要がある、現状における人的関与は妥当である。						

○取組目標		計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
No.	指標名						
○理事・評議員就任を通じた団体への関与							
①	市職員の理事就任数 (7月1日現在)	目標	2	2	2	2	2
		実績	2	2	2	2	
②	市職員の評議員就任数 (7月1日現在)	目標	1	1	1	1	1
		実績	1	1	1	1	
評価	市長が理事長、市民文化局長が理事、市民文化局文化部長が評議員に就任のうえで団体の経営に関与する体制を維持しており、妥当である。						

(3) 団体の活用

○取組目標		計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
No.	指標名						
○「札幌市文化芸術基本計画」の実現に向けた取組の拡充							
①	文化芸術施設（5施設） の利用者数	目標	1,733,000人	1,743,000人	1,753,000人	1,763,000人	1,773,000人
		実績	1,663,233人	1,589,661人	1,409,626人	1,438,692人	1,580,268人
②	札幌市民交流プラザの利用者数【新施設】	目標	—	—	500,000人	1,200,000人	1,200,000人
		実績	—	—	1,129,107人	1,693,326人	
評価	施設間の連携事業の実施や新たな広報に取り組んでいる点などは評価できるが、市民交流プラザ以外の5施設合計での利用者数は目標達成には至っていないことから、引き続き、各施設ごとの特性に応じて、利用促進を図る必要がある。						

(4) 更なる経営の安定化

○取組目標		計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
No.	指標名						
○利用料金収益の増加							
①	5施設の利用料金収益の額	目標	428,072千円	432,353千円	436,676千円	441,043千円	445,453千円
		実績	424,086千円	406,805千円	399,172千円	399,952千円	380,129千円
②	札幌市民交流プラザの利用料金収益の額【新施設】	目標	—	—	106,064千円	261,085千円	261,085千円
		実績	—	—	99,788千円	211,092千円	
評価	利用料金収入についても減少が続いており、目標は達成していない。指定管理業務要求水準で求める主催事業と貸館業務のバランスを見極めつつ、目標達成に努める必要がある。						

(5) 団体統制

○取組目標		計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
No.	指標名						
○組織体制の強化							
①	専務理事職の設置	目標	設置	設置済	設置済	設置済	設置済
		実績	—	設置済	設置済	設置済	設置済
②	市への研修派遣職員数	目標	1	1	1	1	1
		実績	0	1	1	0	0
評価	札幌市民交流プラザの指定管理業務開始等に伴う業務量の増加等のため、平成28年7月に常勤の執行理事である「専務理事」を新たに設置した。また、本市との連携を一層密にするため、平成28年度から財団正規職員の本市への研修派遣を行い、人材育成に努めたが、平成30年度以降、札幌市民交流プラザ開設準備のため、研修派遣を実施できなかったことはやむを得ないとする。						

(6) 札幌市の施策との連動

○取組目標		計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
No.	指標名						
○雇用拡大への取組							
①	常勤職員数 (3月1日時点)	目標	151	161	175	178	180
		実績	134	162	182	197	196
②		目標					
		実績					
評価	札幌市民交流プラザの管理運営業務に対応するため、28年4月に札幌市民交流プラザ開設準備室を設置したことで常勤職員が増加し、目標を上回っており、市内雇用拡大に寄与したものと評価する。						

○取組目標		計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
No.	指標名						
○障がいのある方の自立支援							
①	障害者就労施設からの物品調達及び業務委託件数	目標	8	9	9	10	10
		実績	8	12	12	20	33
②	障がいのある方の雇用者数	目標	4(法定3)	4(法定3)	4(法定4)	4(法定4)	4(法定4)
		実績	2(法定2)	3(法定3)	3(法定3)	2(法定4)	3(法定4)
評価	令和元年度は、障害者就労施設からの物品調達及び業務委託件数が目標を上回っているが、障がいのある方の雇用者数は法定雇用率を下回っている。当課からは、障がい者雇用に関する説明会の情報提供などを行い、当団体では積極的な採用活動を行っているものの、雇用には至っておらず、改善が求められる。						

○取組目標		計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
No.	指標名						
○子育て職員への支援							
①	子育て職員のための規程制定	目標	調査	調査	規程制定・施行	制定済	制定済
		実績	—	制定済	制定済	制定済	制定済
②		目標					
		実績					
評価	育児休業に係る規程を整備したことで、職員がライフプランを検討する際の選択肢が広がったと考えられる。計画を前倒して規程を整備するなど、職員が安心して子どもを産み育てられる環境づくりを積極的に推進していることは評価できる。						

8 情報公開等の状況

ホームページ公開情報	
ホームページアドレス	http://www.sapporo-caf.org/
Eメールアドレス	secretariat@sapporo-caf.org
<p>【経営状況等】</p> <input checked="" type="checkbox"/> 定款 <input checked="" type="checkbox"/> 役員名簿 <input type="checkbox"/> 団体機構図 <input checked="" type="checkbox"/> 事業計画書 <input checked="" type="checkbox"/> 予算書 <input checked="" type="checkbox"/> 事業報告書 <input checked="" type="checkbox"/> 決算書 <input type="checkbox"/> 中長期的な経営計画	
<p>【事業情報等】</p> <input type="checkbox"/> 実施事業(イベント)情報 <input checked="" type="checkbox"/> 管理施設情報 <input type="checkbox"/> その他 ()	
ホームページ以外の情報媒体	
広報誌・冊子の発行： <ol style="list-style-type: none"> 芸術の森 札幌芸術の森ガイドマップ、もりくる、クラシト、クラフト コンサートホール KitaraNEWS、年間主催公演スケジュール 教育文化会館 情報誌「らく」、告知ペーパー「act」 市民ギャラリー 札幌市民ギャラリー 展覧会のご案内 市民交流プラザ WAVE TIMES、PLAS(イベントスケジュール) 「創成おさんぽMAP」「ホテルインフォメーション」(会員特典情報掲載) 	

※特記ない限り、本評価シート情報は令和2年7月1日現在のものです。

事業評価 (1) 札幌芸術の森等管理・運営事業

<p>1. 事業概要</p> <p>(1)事業内容</p>	<p>事業所管課： 市民文化局文化部文化振興課</p> <p>担当： 白川</p> <p>電話： 011-211-2261</p> <p>【札幌芸術の森】</p> <p>①施設の管理運営</p> <p>②主催事業</p> <p>(1) 音楽・舞台芸術事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発信： 野外ステージ等を使用した「サッポロ・シティ・ジャズ2019」、「ノースジャムセッション」等 ・育成： 「第20期札幌ジュニアジャズスクール」、「札幌芸術の森バレエセミナー」、「北海道グループキャンプ2020」（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止） ・振興・交流： 「パークジャズライブ」、「芸森アートマーケット」、「アニエス・ルテステュ『変貌する美』」 <p>(2) 芸術の森美術館事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展覧会： 「札幌美術展 砂澤ビッキ〜風〜」、「テオ・ヤンセン展」、「奇跡の芸術都市 バルセロナ展」、「タグチアートコレクション 球体のパレット」、「みんなのミュージアム線の魔術-」、「札幌芸術の森美術館コレクションの紹介(4回)」／札幌芸術の森美術館会場 計9本。「0さいからのげいじゅつのもり ドライブインシアター」、「札幌芸術の森美術館彫刻コレクション1」、「札幌芸術の森美術館彫刻コレクション2」／札幌芸術の森工芸館会場 計2本 ・野外美術館： 国内外64作家74点の彫刻を展示。ボランティアによる作品解説や、Wan Wanフェスティバル、野外美術館かんじきウォーク等を実施。 ・教育普及事業： 佐藤忠良子どもアトリエワークショップ、子どもの文化芸術体験事業「ハロー！ミュージアム」 ・利用促進： ミュージアムショップ運営 ・人材育成： 博物館実習生（札幌市立大学他）受け入れ、協力員による教育・資料整理 <p>(3) 工芸・工房事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展覧会： 「芸術の森クリスマスアート展2019」「森から生まれたクラフト展2020」等 計2本 ・普及事業： 工芸・版画講習会（体験講習会、技術習得講習会等）、ふらっとクラフト体験 等 <p>(4) 利用促進他</p> <p>「芸森スプリングフェスタ」、「謎解き野外美術館」、「芸森バースデー」、「雪あかりの祭典」、近隣地域・各団体との連携事業 等</p> <p>【本郷新記念札幌彫刻美術館】</p> <p>①施設の管理運営</p> <p>②主催事業</p> <p>(1) 展覧会事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「砂澤ビッキ-樹-」、「子ども育成事業「わくわく★アートスクール」作品展」、「家具の彫刻家 フィン・ユール展」「本郷新と無事の民展」等 計7本 <p>(2) 本郷新記念札幌彫刻賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3回本郷新記念札幌彫刻賞一次選考実施 <p>(3) 貸館事業</p> <p>(4) 普及事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの美術体験事業「ハロー！ミュージアム」、美術館めぐり、子ども造形教室（夏休み・冬休み）、一般向け造形教室、ミュージアムコンサート等 <p>(5) 協力事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育への協力（三角山小学校ほか、総合的な学習の時間や社会科の授業、職場体験や部活動での活動に協力） <p>(6) 連携事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・札幌芸術の森美術館との「砂澤ビッキ」展共同企画 ・公開セミナー「いま、野外彫刻の保全を考える」 <p>(7) 利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サンクスデー（6月、11月） 	<p>市指定管理費(非公募) 662,990</p> <p>市補助金 11,125</p>
-------------------------------	--	---

(2)事業目的	<p>【札幌芸術の森】 芸術文化都市さっぽろのシンボルとして、個性ある新しい札幌文化を育てることを目指し、「制作・研修機能」、「情報・交流機能」、「鑑賞・発表機能」を持つ新しい芸術文化の場を創出し、札幌が誇りとする豊かな大自然と、都市、芸術、文化が調和した環境の形成を目的とする。</p> <p>【本郷新記念札幌彫刻美術館】 本市ゆかりの彫刻家である本郷新の業績を顕彰するとともに、本市における彫刻を中心とした美術の振興を図ることで、本市の文化芸術の振興に寄与することを目的とする。</p>
(3)事業開始	<p>【札幌芸術の森】 昭和61年(1986年)7月27日</p> <p>【本郷新記念札幌彫刻美術館】 昭和56年(1981年)6月29日</p>

2. 実施結果

(1)事業収支 (単位 千円)	項目	H30年度	R1年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		850,365 (22.6 %)	895,135 (24.0 %)	(+44,770)
市補助金・交付金・負担金		11,690	11,125	(▲ 565)	
市業務委託料		0	0	(0)	
市指定管理費		656,593	662,990	(+6,397)	
市施設利用料金収入		44,049	64,080	(+20,031)	
自主事業収入(補助金除く)		83,069	88,049	(+4,980)	
その他収入		54,964	68,891	(+13,927)	
費用(支出)		909,059	915,124	(+6,065)	
事業費		869,319	868,702	(▲ 617)	
管理費等		39,740	46,422	(+6,682)	
収支差		▲ 58,694	▲ 19,989	(+38,705)	
収支比率		93.54%	97.82%	(+4.27%)	
(2)活動指標		H30年度実績	R1年度目標	R1年度実績	R2年度目標
①	芸術文化を核として、一般の方々の交流・参加する機会を提供する事業	37事業	39事業	37事業	35事業
②	優れた芸術を鑑賞する機会を提供するとともに、裾野を拡大する事業	82事業	75事業	70事業	68事業
③	トレーニングや発表の場等の提供による人材育成事業	17事業	16事業	12事業	14事業
④	地元芸術家等の紹介及び活動を支援する振興事業	16事業	17事業	23事業	21事業
⑤	利用促進のためのサービス向上、営業、広報活動事業	37事業	38事業	44事業	34事業
(3)成果指標		H30年度実績	R1年度目標	R1年度実績	R2年度目標
①	芸術の森 総入園者数(人)	351,955	505,000	607,759	520,000
②	芸術の森 利用者アンケート結果(%) (施設、職員対応等が「普通」以上の割合)	90.5	95.0	91.4	95.0
③	彫刻美術館 入館者数(人)	16,959	14,000	15,485	15,000
④	彫刻美術館 利用者アンケート結果(%) (施設、職員対応等が「普通」以上の割合)	96.0	95.0	91.0	95.0

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	<p>事業目的に対して事業の効果は <input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を受け、中止となった事業はあるものの、芸術の森の総入園者数は60万人を越え、過去最高を記録し、彫刻美術館の来館者数についても目標を上回っている。利用者満足度も高水準であり、高く評価できる。</p> <p>主催事業について、札幌芸術の森では国内外の作品を楽しめる多彩な展覧会や野外美術館を活用したイベントなどを実施し、彫刻美術館では主催展覧会に合わせた多彩な関連事業を実施し、両施設とも多くの市民に多彩な文化芸術に親しむ機会を提供しており、高く評価できる。</p>
(2)収支状況	<p>当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善</p> <p>委託費や修繕費などの支出は前年度を上回ったものの、利用料金収入や自主事業収入が増加した結果、収支差は前年度と比べて改善したが、全体としてはマイナス決算となっている。安定的な施設運営を行っていくために、緻密な事業計画の作成や経費削減に向けた取り組みを進める必要がある。</p>

事業評価 (2) 札幌コンサートホールの管理・運営事業

1. 事業概要	事業所管課： 市民文化局文化部文化振興課	担当： 白川	電話： 011-211-2261
(1)事業内容	<p>①施設の管理運営 ②主催事業 (1)音楽鑑賞事業<海外・日本のトップクラスの演奏家の招聘等> ・オーケストラ&合唱シリーズ (バッハ・コレギウム・ジャパン、クリスチャン・ヤルヴィ指揮 MDRライプツィヒ放送交響楽団、マレク・ヤノフスキ指揮 ケルン放送交響楽団) ・ソリストシリーズ (ティエリー・エスケシュ オルガンリサイタル、ディートリヒ・ヘンシエル バリトンリサイタル、ミクローシュ・ペレーニ チェロリサイタル) ※アンドラーシュ・シフ ピアノリサイタルは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ・室内楽シリーズ (堤剛プロデュース 弦楽器の響、ジャン・チャクムル ピアノリサイタル、ダネル弦楽四重奏団、ジャン・ロンドー チェンバロリサイタル、安永徹&市野あゆみ デュオ・コンサート、アルトゥール&ルーカス・ユッセン ピアノデュオリサイタル)</p> <p>(2)音楽普及事業 <オルガン事業、札幌交響楽団公演、ランチタイムコンサート、地元演奏家との協力等> ・オルガン事業 (オルガンサマーナイトコンサート、オルガンウィンターコンサート、シモンさんのオルガン・ファンタジー、シモン・ボレノ フェアウェルオルガンリサイタル、アダム・タバイディ デビューリサイタル、クリスマスオルガンコンサート) ・札幌オーケストラシリーズ (きがるにオーケストラ、Kitaraのクリスマス、Kitaraのニューイヤー) ・Kitaraランチタイムコンサート (夏休みランチタイムコンサート、はつ春の調べ~邦楽四重奏団) ・地元音楽家の活動支援・地元音楽団体との連携事業 (若い芽の音楽会) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のためKitaraアーティスト・サポートプログラム/Bach and Beyond 無伴奏ヴァイオリンの300年間は令和2年度に延期、Kitara&札幌音楽家協議会連携プロジェクト札幌の奏響Ⅲは中止 ・ホール開放事業 Kitaraあ・ら・かると (きがるにオーケストラ、コーラス&ブラス~中学生スペシャル!、シモンさんのオルガン・ファンタジー、若い芽の音楽会、3歳からのコンサート、Kitara地下探検隊、)</p> <p>(3)教育・人材育成事業 <エデュケーションプログラム、アウトリーチ事業、セミナー事業> ・エデュケーションプログラム (ひろがる!つたわる!オルガンのひびき、Kitaraファースト・コンサート) ・アウトリーチ事業 (学校DEカルチャー オルガンアウトリーチコンサート) ※札幌市民ギャラリー チェンバロコンサートは会場と出演者の都合により令和2年度に延期されたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ・セミナー事業 (第23回リスト音楽院セミナー、オルガンセミナー事業) ・北海道教育大学、札幌大谷大学連携事業 (若い芽の音楽会、パイプオルガン特別講義)</p> <p>(4)全国ホール等とのネットワーク事業 <専属オルガニスト道外公演、他都市や他ホールとの連携事業> ・堤剛プロデュース 弦楽器の響 サントリーホール チェンバーミュージック・ガーデン in Kitara、ダネル弦楽四重奏団、サントリーホールオルガン・プロムナード・コンサート、すみだトリフォニーホールパイプオルガン・クリスマス・コンサート2019、京都コンサートホール オムロン パイプオルガンコンサートシリーズ ・国内ホールとの情報交換、共同企画(コンサートホール企画連絡会議)</p> <p>(5)利用促進・PR活動 ・公演広報(KitaraNEWSの発行、ソーシャルメディアの活用、マスメディアによる情報提供、新聞、音楽専門誌、タウン誌、フリーペーパー等への広告掲載、地下鉄駅構内電照広告掲出、地下歩行空間への広告掲出) ・公開リハーサル付防災訓練・見学ツアー・ゆきあかりin中島公園</p> <p>(6)チケット等販売事業 (7)Kitaraボランティアとの連携</p>		<p>市指定管理費(非公募) 622,530</p> <p>市補助金 18,915</p>

(2)事業目的	音楽の鑑賞その他音楽に関する活動の場を提供すること及び音楽に関する事業を行うことにより、音楽芸術の振興及び音楽を通じた人材育成・国際交流の推進を図ることを目的とする。
(3)事業開始	平成9年(1997年)7月1日

2. 実施結果

(1)事業収支 (単位 千円)	項目	H30年度	R1年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		908,660 (24.1 %)	891,896 (24.0 %)	(▲ 16,764)
	市補助金・交付金・負担金	18,915	18,915	(0)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	615,050	622,530	(+7,480)	
	市施設利用料金収入	176,266	157,562	(▲ 18,704)	
	自主事業収入(補助金除く)	85,871	74,342	(▲ 11,529)	
	その他収入	12,558	18,547	(+5,989)	
	費用(支出)	935,219	927,506	(▲ 7,713)	
	事業費	850,313	841,684	(▲ 8,629)	
	管理費等	84,906	85,822	(+916)	
	収支差	▲ 26,559	▲ 35,610	(▲ 9,051)	
	収支比率	97.16%	96.16%	(▲ 1.00%)	
(2)活動指標		H30年度実績	R1年度目標	R1年度実績	R2年度目標
①	芸術文化を核として、一般の方々の交流・参加する機会を提供する事業	19事業	13事業	17事業	11事業
②	優れた芸術を鑑賞する機会を提供するとともに、裾野を拡大する事業	80事業	73事業	69事業	53事業
③	トレーニングや発表の場等の提供による人材育成事業	17事業	13事業	14事業	8事業
④	地元芸術家等の紹介及び活動を支援する振興事業	30事業	23事業	23事業	13事業
⑤	利用促進のためのサービス向上、営業、広報活動事業	26事業	24事業	26事業	12事業
⑥					
(3)成果指標		H30年度実績	R1年度目標	R1年度実績	R2年度目標
①	利用率(大ホール) (%)	83.9	87.0	77.6	87.0
②	総利用人数 (人)	343,888	380,000	301,666	210,000
③	利用者アンケート結果 (%) (施設、職員対応等が「普通」以上の割合)	93.6	94.0	95.2	96.0
④					

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	<p>事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない</p> <p>総入場者数、施設稼働率の減やそれに伴う利用料金収入等の減については、新型コロナウイルスの影響によるところが大きいものの、影響がない12月までも前年度とほぼ同程度の水準であったことから、今後、改善に向けた取り組みが求められる。</p> <p>各主催事業では質の高い多様な演奏会を展開したほか、子供向けのアプローチや地元音楽家への活動支援など、音楽文化の普及・人材育成にも引き続き取り組むなど、札幌市の施策に沿った事業が展開されている。加えて、コンサートの開催時間の工夫やアウトリーチコンサートの実施など、新たな音楽ファン獲得に向けた取り組みを進めていることは高く評価できる。</p> <p>このほか、利用者意見を基にした業務改善や施設の適切な管理によるエネルギー使用量の減少など、細かな取り組みを日々継続していることも評価できる。</p>
(2)収支状況	<p>当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善</p> <p>純利益は赤字となっているものの、新型コロナウイルス感染拡大に伴うイベントの自粛などやむをえない事情によるところが大きいのが、長期的に見ても収入は減少傾向にあるため、引き続き、収入確保に向けた取り組みを進める必要がある。</p>

事業評価 (3) 札幌市教育文化会館の管理・運営事業

1. 事業概要	事業所管課：市民文化局文化部文化振興課	担当：白川	電話：011-211-2261
(1)事業内容	①施設の管理運営 ②主催事業 (1) 芸術文化を創造し、発信する事業 ・良質で多彩な舞台芸術作品の鑑賞機会の提供（教文伝統芸能シリーズ「能楽なう」「松竹大歌舞伎」「人形浄瑠璃文楽」「はじめての歌舞伎舞踊」、演劇公演「虹のかげら～もうひとりのジュディ」） ・札幌の舞台芸術の創造・発表事業（教文演劇フェスティバル2019、教文オペラ） ・文化施設、文化団体、文化芸術NPOとの協働事業（能楽鑑賞のひとつ、札幌能楽会創立60周年記念能、人形劇フェスティバル2020 他2件、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止） (2) 芸術文化の普及振興のため、芸術文化に対する育成・助成・支援を行う事業 ・子どもたちのための文化芸術活動の支援事業（子ども演劇ワークショップ、小・中学生のための能楽入門、夏休みこども体験新喜劇） ・市民と文化芸術をつなぐ人材の育成・支援事業（教文13丁目笑劇一座、ダンスワークショップ） ・学校教育に係る芸術文化活動の支援（小中高生の演劇発表会、音楽会） ・将来の文化芸術活動を活性化させるための情報の収集・提供（公立文化施設等とのネットワーク、専門家集団との交流やメディア活用、アンケート実施） (3) 札幌市民芸術祭 ・市民劇場、新人音楽会、市民合唱祭、市民美術・書道展など ・札幌市、実行委員会、当団体が主催。事務局は当団体 ・特に優れた個人・団体に「札幌市民芸術祭大賞」「同奨励賞」を贈呈 (4) 広報活動（ホームページ、教文情報誌「楽」・「act」の発行、メディアを通じた情報提供及び広告等、教文☆ナビ）		
(2)事業目的	文化芸術及び教育活動の中心的な施設として、音楽、舞踊、演劇、美術等の制作及び発表の場にし、それらの事業を行うことで、本市の舞台芸術の振興を図ることを目的とする。		
(3)事業開始	昭和52年(1977年)7月15日		

2. 実施結果

(1)事業収支 (単位 千円)	項目	H30年度	R1年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		449,694 (11.9%)	422,015 (11.3%)	▲ 27,679
	市補助金・交付金・負担金	2,000	2,000	(0)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	258,703	261,752	(+3,049)	
	市施設利用料金収入	160,150	138,987	▲ 21,163	
	自主事業収入(補助金除く)	19,831	9,460	▲ 10,371	
	その他収入	9,010	9,816	(+806)	
	費用(支出)	450,324	440,908	▲ 9,416	
	事業費	429,908	425,773	▲ 4,135	
	管理費等	20,416	15,135	▲ 5,281	
	収支差	▲ 630	▲ 18,893	▲ 18,263	
	収支比率	99.86%	95.71%	▲ 4.15%	
(2)活動指標		H30年度実績	R1年度目標	R1年度実績	R2年度目標
①	芸術文化を核として、一般の方々の交流・参加する機会を提供する事業	18事業	16事業	16事業	17事業
②	優れた芸術を鑑賞する機会を提供するとともに、裾野を拡大する事業	40事業	39事業	39事業	39事業
③	トレーニングや発表の場等の提供による人材育成事業	26事業	24事業	24事業	25事業
④	地元芸術家等の紹介及び活動を支援する振興事業	21事業	23事業	21事業	22事業
⑤	利用促進のためのサービス向上、営業、広報活動事業	7事業	9事業	9事業	9事業
⑥					

(3)成果指標		H30年度実績	R1年度目標	R1年度実績	R2年度目標
①	大ホール利用率 (%)	81.0	82.0	70.4	80.0
②	総利用者数 (人)	587,577	580,000	539,904	580,000
③	利用者アンケート結果 (%) (施設、職員対応等が「普通」以上の割合)	92.3	92.0	82.1	92.0
④					

3. 所管局による評価

(1) 事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	<p>施設の利用については、さっぽろ芸術文化の館の閉館に伴う影響を分析し、新たな利用者の開拓を行うなど、利用率の維持向上や収入確保に努める必要がある。</p> <p>主催事業については、特に、伝統芸能の分野において、仮設能舞台の設備を活かし、外国人により広く魅力を伝える取組を強化した点について、高く評価できる。利用者からの声については、利用満足度が前年度より減少したものの、引き続き、高水準を維持しており、適切な運営管理がなされていると評価できる。施設・設備等の維持については、利用者の安全や利便性に配慮した備品改修や施設修繕を行っており、適切に運営がなされている。</p>
(2) 収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	<p>利用料金収入の減少により収支が赤字となっているが、新型コロナウイルス感染拡大に伴うイベントの自粛などやむをえない事情にも起因する。引き続き収支均衡に努め、施設の稼働率向上や収入確保に向けた取り組みが必要である。</p>

事業評価 (4) 札幌市民ギャラリーの管理・運営事業

1. 事業概要	事業所管課：市民文化局文化部文化振興課	担当：白川	電話：011-211-2261
(1)事業内容	①施設の管理運営 ②主催事業 ・市民ギャラリー美術映画会 (9/10回) ※10回中止 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため) ・カルチャーナイト2019 (1日間) ・市民ギャラリーワークショップ「陶芸体験教室 (4回)、七宝体験教室 (2回)、夏休み子どもワークショップ (3日間)、冬休み子どもワークショップ (2回)」 ・教文13丁目笑劇一座出張公演 (1日間) ・市民ギャラリー手づくり作品市場 (2日間) ・市民ギャラリーコンサート (1回) ・市民ギャラリー子ども映画会 (1/2回) ※2回中止 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため) ・第48回札幌文化団体協議会フェスティバル・展示部門 (3日間) ・100万人のクラシックライブ×東地区クリスマスコンサート～クラシックライブ2019～ (1回) ・第63回札幌市中学校美術・書道展 (5日間) ・Kitara専属オルガニストによるコンサート ※次年度へ延期 ・札幌圏大学生合同写真展 EX 17th (5日間) ※中止 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため)		市指定管理費(公費) 74,500
(2)事業目的	展覧会、展示会のための会場として市民の使用に供すること及び各種事業を行うことで、本市の文化芸術の振興に寄与することを目的とする。		
(3)事業開始	昭和57年(1982年)2月28日		

2. 実施結果

(1)事業収支(単位:千円)	項目	H30年度	R1年度	(前年比)	
	収入(経常収益比)		95,437 (2.5%)	94,948 (2.6%)	▲489
市補助金・交付金・負担金		0	0	(0)	
市業務委託料		0	0	(0)	
市指定管理費		74,027	74,500	(+473)	
市施設利用料金収入		19,487	19,500	(+13)	
自主事業収入(補助金除く)		1,785	910	▲875	
その他収入		138	38	▲100	
費用(支出)		93,600	94,424	(+824)	
事業費		89,649	91,398	(+1,749)	
管理費等		3,951	3,026	▲925	
収支差		1,837	524	▲1,313	
収支比率		101.96%	100.55%	▲1.41%	
(2)活動指標		H30年度実績	R1年度目標	R1年度実績	R2年度目標
①	芸術文化を核として、一般の方々の交流・参加する機会を提供する事業	4事業	4事業	4事業	5事業
②	優れた芸術を鑑賞する機会を提供するとともに、裾野を拡大する事業	9事業	8事業	7事業	9事業
③	トレーニングや発表の場等の提供による人材育成事業	5事業	3事業	2事業	6事業
④	地元芸術家等の紹介及び活動を支援する振興事業	5事業	4事業	4事業	4事業
⑤	利用促進のためのサービス向上、営業、広報活動事業	1事業	1事業	1事業	1事業
(3)成果指標		H30年度実績	R1年度目標	R1年度実績	R2年度目標
①	展示室の利用率 (%)	84.0	85.0	80.1	85.0
②	入場者数 (人)	138,313	135,000	115,454	135,000
③	利用者アンケート結果 (%) (施設、職員対応等が「普通」以上の割合)	93.8	92.5	95.3	92.5

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、展示室の利用率や入場者数が前年度実績、当年度目標とも下回ったものの、主催事業では、夏休み時期に子ども向けのイベントを新たに実施する等、集客に努めており、利用者満足度も高水準であることは評価できる。また、貸館事業については、公平性を確保しながらも、全ての申込団体が催事を開催できるように調整する等、利用者の要望に応えることで稼働率の維持向上に努めており、高く評価できる。施設・設備等の維持については、利用者の安全や利便性に配慮した備品改修や施設修繕を行っており、適切に運営がなされている。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	収入は前年度実績を下回ったものの収支差は黒字を維持しており、経費削減に努めたうえで本市が文化芸術基本計画に掲げる子ども向け事業に取り組む等、本市の施策に即した事業を展開しており高く評価できる。

事業評価 (5) 札幌市民交流プラザの管理運営事業

1. 事業概要	事業所管課：市民文化局文化部文化振興課	担当：白川	電話：011-211-2261
(1)事業内容	<p>①施設の管理運営 ②主催事業 1 札幌文化芸術劇場に関する事業 (1) 創造事業 グランドオペラ共同制作 ビゼー作曲 オペラ「カルメン」(2公演) (2) 鑑賞事業 ・プッチーニ作曲 オペラ「トゥーランドット」(2公演) ・新国立劇場バレエ団「くるみ割り人形」(2公演) ・ゴジラvs札幌～伊福部昭の世界～ ・hitaru 午後のひととき 計3公演 内1公演中止(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため) ・上原ひろみ JAPAN TOUR 2019 “SPECTRUM” ・クリエイティブスタジオ活用事業 Noism2 (2公演) 作・演出 藤田貴大「めにみえない みみにしたい」(3公演) 能藤玲子「風に聴くーみたびまみえるー」(3公演) 他2事業 (3) 普及・育成事業 ・Noismメソッド+Noismレパトリー舞踊経験者向けワークショップ ・トーク&コンサート トゥーランドットの舞台裏～アンダースタディの視点から～ ・バレエピアニストが語る 本当は深いバレエと音楽のおはなし ・地図のワークショップ ・新国立劇場バレエ団ダンサーのピアノの生演奏による！バレエ経験者向けワークショップ ・hitaru 午後のひととき公開ワークショップ チェンバロと歌うイタリア古典歌曲 ・市民交流プラザメンバーズ限定特別イベント オペラ「カルメン」新演出の見どころ聴きどころ～演出家・田尾下哲さんと共に～ ・青少年向けバレエ鑑賞事業 ・青島広志の楽しいオペラ講座 オペラ「カルメン」の魅力 ・公募企画事業 北海道ダンスプロジェクト HDP DANCE PREMIUM 2019 北海道二期会オペラ 「椿姫」Viva! オペラ! Opera! オペラアリによるレクチャー&ガラコンサート イタリア・ヴェリズモオペラの世界～『道化師』を中心に 他1事業 ・大学連携事業 アートプログラム2019 第1回 オペラ「トゥーランドット」見どころ・聴きどころ アートプログラム2019 第3回 バレエ「くるみ割り人形」見どころ・聴きどころ (4) 交流事業 ・PLAZA FESTIVAL 2019 Rhizomatiks Research×ELEVENPLAY×Kyle McDonald「discrete figures Special Edition」 アート×エンターテイメントの最前線ー真鍋大度の創造性ー札幌爆音映画祭 Collective Pーまちとプラザをつなぐ搬入プロジェクトープラザ・マルシェ2019</p> <p>2 札幌文化芸術交流センターに関する事業 (1) 人材育成事業 ・SCARTSアートコミュニケーション事業 説明会、講座(計9回) 実践活動 さっぽろアートステージ2019 対話型鑑賞サポート 他2件 自主企画 齋藤玄輔 THIS TIME THIS PLACE 2020 sapporo」制作体験レポート 他1件 募集説明会 SCARTSアートコミュニケーター2期生の募集説明会 ・SCARTSレクチャーシリーズ for Artist vol.01「活躍の場を広げたい！アーティストのためのセルフプロデュース術」 計5講座 内1講座中止(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため) (2) 相談・調査研究事業 ・SCARTSインフォメーションカウンター ・文化芸術に関する情報発信 ・文化芸術活動サポートサービス ・対面相談サービス ・調査研究 (3) 普及・発信事業 ・鈴木康広 雪の消息 残像の庭 トークイベント、SCARTSアートコミュニケーターによる関連プログラ ・++A&T-SCARTS ART&TECHNOLOGY Project- (プラプラットフォーム)</p>		<p>市指定管理費(非公募) 878,544 市委託料(随意契約) 5,115</p>

	<p>三宅唱プロジェクト：高校生ワークショップ①「映画のワンシーンを監督してみよう！」 他5事業</p> <ul style="list-style-type: none"> PLAZA FESTIVAL 2019 Collective P-まちとプラザをつなぐ搬入プロジェクト、プラザ・マルシェ2019 まちなかお昼のおんがくかい(計4公演) SCARTSオープンDAY UNDER UNIVERSE：STUDIO ROCCA×SCARTS 連携事業 さっぽろアートステージ2019 他5事業 公募企画事業 ARAMAKI WORLD+SHAKE SUMMIT 計4事業 内1事業中止(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため) <p>3 広報・利用促進に関する事業</p> <p>(1) 広報 事業広報との連携強化、広報印刷物の制作、ホームページの改善・SNSの活用</p> <p>(2) 利用促進 施設利用に関する営業、会員制度の運営、協賛制度の運営、クリエイティブスタジオ見学会</p> <p>(3) 共催事業の誘致 さっぽろ落語まつり、ミュージカル「レ・ミゼラブル」</p>
(2)事業目的	舞台芸術、音楽、美術等の企画、制作及び実施等を通じて、文化芸術活動及び生涯学習の振興と人々の来訪及び交流の促進を図ることにより、市民の創造性を育むとともに、市民生活の質の向上と地域のにぎわいの創出に寄与することを目的とする。
(3)事業開始	平成28年(2016年)4月1日

2. 実施結果

(1)事業収支(単位:千円)	項目	H30年度	R1年度	(前年比)	
	収入(経常収益比)		1,466,214 (38.9%)	1,418,686 (38.1%)	(▲47,528)
	市補助金・交付金・負担金	8,550	0	(▲8,550)	
	市業務委託料	8,802	5,115	(▲3,687)	
	市指定管理費	1,181,162	878,544	(▲302,618)	
	市施設利用料金収入	99,788	211,092	(+111,304)	
	自主事業収入(補助金除く)	157,300	302,768	(+145,468)	
	その他収入	10,612	21,167	(+10,555)	
	費用(支出)	1,344,782	1,505,058	(+160,276)	
	事業費	1,249,809	1,413,598	(+163,789)	
	管理費等	94,973	91,460	(▲3,513)	
	収支差	121,432	▲86,372	(▲207,804)	
	収支比率	109.03%	94.26%	(▲14.77%)	
(2)活動指標		H30年度実績	R1年度目標	R1年度実績	R2年度目標
①	芸術文化を核として、一般の方々の交流・参加する機会を提供する事業	30事業	4事業	22事業	3事業
②	優れた芸術を鑑賞する機会を提供するとともに、裾野を拡大する事業	85事業	43事業	74事業	38事業
③	トレーニングや発表の場等の提供による人材育成事業	26事業	10事業	24事業	9事業
④	地元芸術家等の紹介及び活動を支援する振興事業	35事業	7事業	22事業	8事業
⑤	利用促進のためのサービス向上、営業、広報活動事業	23事業	9事業	19事業	15事業
(3)成果指標		H30年度実績	R1年度目標	R1年度実績	R2年度目標
①	札幌文化芸術劇場ホール利用率(%)	91.8	80.0	72.6	80.0
②	札幌文化芸術交流センター利用率(%)	90.6	80.0	80.9	75.0
③	来館者数(図書・情報館含む)	1,129,107	1,200,000	1,693,326	1,200,000
④	利用者アンケート結果(%) (施設、職員対応等が「普通」以上の割合)	95.2	80.0	93.6	80.0

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	<p>事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない</p> <p>令和2年2月以降は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、運営に相当の制限を受けたものの、それ以前においては、高い稼働率を達成し、来館者数も目標を大幅に超える数値を達成している。劇場では本格的な舞台芸術を提供し、センターでは多様な事業を行い、多くの人が楽しめ、また、普及啓発、人材育成につなげる等、有効に施設を稼働させている点が評価できる。各種文化芸術の催し、カフェ・レストランの運営、快適なフリースペースの提供から、地域の交流拠点としても人々に定着しつつあり、賑わいの創出に寄与しているものと認められる。</p>
(2)収支状況	<p>当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善</p> <p>主催事業を数多く行う施設であることから、稼働率の高さがそのまま利用料金収入にはつながらない面がある。今後は、貸館稼働率の向上等利用料金収入の確保に向けた取組を進めることで、収支改善を図る必要がある。</p>

様式1-1

貸借対照表
令和2年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	686,427,043	903,452,982	△217,025,939
未収金	222,970,588	118,735,571	104,235,017
未収収益	1,848,449	2,207,129	△358,680
前払金	14,740,916	5,025,461	9,715,455
仮払金	18,000	18,000	-
立替金	2,824,941	226,004	2,598,937
商品	18,877,937	21,615,697	△2,737,760
仕掛品	889,800	608,700	281,100
貯蔵品	63,859,144	61,326,844	2,532,300
流動資産合計	1,012,456,818	1,113,216,388	△100,759,570
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
預金	1,426,875	1,426,875	-
投資有価証券	79,784,800	79,784,800	-
基本財産合計	81,211,675	81,211,675	-
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	143,341,889	134,388,267	8,953,622
基金引当資産	895,802,518	903,514,518	△7,712,000
器具備品	611,367	815,156	△203,789
特定資産合計	1,039,755,774	1,038,717,941	1,037,833
(3) その他固定資産			
建物	555,241	896,777	△341,536
車両運搬具	2,605,974	1,338,355	1,267,619
器具備品	25,519,581	35,802,077	△10,282,496
美術品	1,920,000	1,920,000	-
ソフトウェア	13,638,317	12,760,593	877,724
敷金	256,500	404,500	△148,000
その他固定資産合計	44,495,613	53,122,302	△8,626,689
固定資産合計	1,165,463,062	1,173,051,918	△7,588,856
資産合計	2,177,919,880	2,286,268,306	△108,348,426
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	231,635,952	254,982,248	△23,346,296
未払費用	45,757,539	52,664,563	△6,907,024
未払法人税等	806,500	3,642,200	△2,835,700
未払消費税等	7,475,400	34,432,700	△26,957,300
前受金	273,799,188	267,555,976	6,243,212
預り金	38,786,433	37,964,872	821,561
仮受金	4,910	-	4,910
流動負債合計	598,265,922	651,242,559	△52,976,637
2. 固定負債			
退職給付引当金	143,341,889	134,388,267	8,953,622
固定負債合計	143,341,889	134,388,267	8,953,622
負債合計	741,607,811	785,630,826	△44,023,015
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
地方公共団体補助金等	834,208,139	841,920,139	△7,712,000
寄付金	89,672,446	89,876,235	△203,789
指定正味財産合計	923,880,585	931,796,374	△7,915,789
(うち基本財産への充当額)	(81,211,675)	(81,211,675)	-
(うち特定資産への充当額)	(842,668,910)	(850,584,699)	△7,915,789
2. 一般正味財産	512,431,484	568,841,106	△56,409,622
(うち特定資産への充当額)	(53,744,975)	(53,744,975)	-
正味財産合計	1,436,312,069	1,500,637,480	△64,325,411
負債及び正味財産合計	2,177,919,880	2,286,268,306	△108,348,426

様式2-1

正味財産増減計算書
平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	240,657	240,000	657
基本財産受取利息	240,657	240,000	657
② 特定資産運用益	8,456,167	9,164,997	△708,830
特定資産受取利息	8,456,167	9,164,997	△708,830
③ 事業収益	3,572,181,916	3,641,934,181	△69,752,265
受取指定管理費	2,500,316,000	2,785,535,065	△285,219,065
利用料金収益	591,220,899	499,740,537	91,480,362
受講料収益	31,683,744	36,598,620	△4,914,876
入場料収益	260,103,880	194,250,804	65,853,076
商品売上金収益	14,008,756	14,067,475	△58,719
出品料収益	1,121,062	1,053,005	68,057
受託販売手数料収益	12,370,141	11,694,135	676,006
広告料収益	117,913,000	58,646,000	59,267,000
見学料収益	48,000	267,000	△219,000
受託業務収益	5,115,000	8,802,000	△3,687,000
管理許可等収益	27,945,670	28,072,211	△126,541
共催事業決算金収益	10,335,764	3,207,329	7,128,435
④ 受取補助金等	111,966,928	77,853,924	34,113,004
受取地方公共団体補助金	32,040,000	35,305,424	△3,265,424
受取民間助成金	29,799,818	23,767,500	6,032,318
受取国庫助成金	50,127,110	18,781,000	31,346,110
⑤ 受取負担金	14,821,520	30,798,746	△15,977,226
受取負担金	14,821,520	30,798,746	△15,977,226
● 受取寄付金	873,789	481,720	392,069
受取寄付金	670,000	210,000	460,000
特定資産受贈益振替額	203,789	271,720	△67,931
⑦ 雑収益	13,662,480	9,595,378	4,067,102
雑収益	13,662,480	9,595,378	4,067,102
経常収益計	3,722,203,457	3,770,068,946	△47,865,489
(2) 経常費用			
① 事業費	3,821,132,104	3,659,804,220	161,327,884
役員報酬	12,555,000	12,555,000	-
給料手当	619,199,873	621,414,021	△2,214,148
賃金	295,126,784	288,231,433	6,895,351
退職給付費用	21,186,091	17,533,675	3,652,416
福利厚生費	158,776,255	152,589,333	6,186,922
旅費交通費	35,773,796	49,699,420	△13,925,624
通信運搬費	21,204,195	23,059,602	△1,855,407
減価償却費	24,833,944	26,201,064	△1,367,120
消耗什器備品費	3,118,254	3,534,818	△416,564
商品売上原価	11,850,737	11,836,628	14,109
消耗品費	94,001,667	98,642,602	△4,640,935
図書費	590,696	321,375	269,321
修繕費	25,747,432	13,769,233	11,978,199
印刷製本費	78,964,050	81,472,447	△2,508,397
燃料費	28,752,634	27,749,699	1,002,935
光熱水費	466,340,137	432,975,284	33,364,853
賃借料	34,917,195	30,774,105	4,143,090
保険料	3,673,380	3,456,098	217,282
諸謝金	232,762,500	253,223,832	△20,461,332
報償費	1,766,737	5,433,988	△3,667,251
交際費	45,864	14,400	31,464
食糧費	4,415,461	8,933,108	△4,517,647
広告料	38,482,661	47,045,903	△8,563,242
手数料	35,741,665	19,182,286	16,559,379
租税公課	78,404,270	91,766,380	△13,362,110
支払負担金	76,434,349	114,342,921	△37,908,572
支払寄付金	6,397,303	10,256,414	△3,859,111
委託費	1,381,872,671	1,185,710,024	196,162,647
管理許可等費用	27,945,670	28,072,211	△126,541
雑費	216,400	-	216,400
雑損失	34,433	6,916	27,517

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
②管理費	13,870,539	13,054,470	816,069
役員報酬	1,395,000	1,395,000	-
給料手当	5,573,987	5,537,094	36,893
賃金	558,800	472,347	86,453
退職給付費用	205,391	155,258	50,133
福利厚生費	1,292,656	1,272,826	19,830
旅費交通費	184,294	214,404	△30,110
通信運搬費	221,657	224,704	△3,047
減価償却費	69,963	73,800	△3,837
消耗什器備品費	-	38,674	△38,674
消耗品費	156,191	109,655	46,536
図書費	7,615	1,641	5,974
修繕費	103,477	-	103,477
印刷製本費	100,000	106,754	△6,754
貸借料	556,870	517,925	38,945
保険料	27,250	24,250	3,000
諸謝金	-	21,600	△21,600
報償費	5,197	2,754	2,443
交際費	3,296	1,000	2,296
食糧費	11,264	8,665	2,599
広告料	133,588	183,700	△50,112
手数料	305,097	299,066	6,031
租税公課	5,330	2,680	2,650
支払負担金	130,037	58,935	71,102
委託費	2,799,579	2,331,738	467,841
雑費	24,000	-	24,000
經常費用計	3,835,002,643	3,672,858,690	162,143,953
当期經常増減額	△112,799,186	97,210,256	△210,009,442
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
受取補償金	57,305,924	-	57,305,924
受取補償金	57,305,924	-	57,305,924
經常外収益計	57,305,924	-	57,305,924
(2) 經常外費用			
固定資産除却損	109,860	4,056,648	△3,946,788
建物除却損	-	4,056,648	△4,056,648
器具備品除却損	109,860	-	109,860
經常外費用計	109,860	4,056,648	△3,946,788
当期經常外増減額	57,196,064	△4,056,648	61,252,712
税引前当期一般正味財産増減額	△55,603,122	93,153,608	△148,756,730
法人税、住民税及び事業税	806,500	3,642,200	△2,835,700
当期一般正味財産増減額	△56,409,622	89,511,408	△145,921,030
一般正味財産期首残高	568,841,106	479,329,698	89,511,408
一般正味財産期末残高	512,431,484	568,841,106	△56,409,622
II 指定正味財産増減の部			
(1) 基本財産運用益	240,657	240,000	657
基本財産受取利息	240,657	240,000	657
(2) 特定資産運用益	8,963,667	9,313,597	△349,930
特定資産受取利息	8,963,667	9,313,597	△349,930
(3) 特定資産評価損	7,265,700	2,952,600	4,313,100
特定資産評価損	7,265,700	2,952,600	4,313,100
(4) 特定資産償還損	953,800	-	953,800
特定資産償還損	953,800	-	953,800
(5) 一般正味財産への振替額	△8,900,613	△9,676,717	776,104
一般正味財産への振替額	△8,900,613	△9,676,717	776,104
当期指定正味財産増減額	△7,915,789	△3,075,720	△4,840,069
指定正味財産期首残高	931,796,374	934,872,094	△3,075,720
指定正味財産期末残高	923,880,585	931,796,374	△7,915,789
III 正味財産期末残高	1,436,312,069	1,500,637,480	△64,325,411